

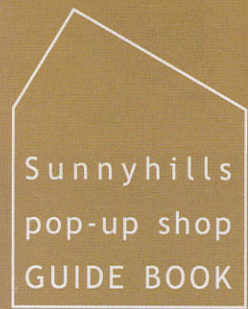
“間わりやすいデザイン”についていつも考えています。デザイナー以外の人たちが、積極的にデザインに参加しやすくなるような枠組みを用意してあげることで、復元力（レジリエンス）を高めて、簡単につくったり壊したりできるデザイン。それこそがこの先の世代のデザインの実現につながっていくのではないかと考えて、このユニットのアイデアとこのガイドブックをつくりました。僕の手を雇った先でいつか名作フォリーに出会えると嬉しいです。

富永大毅建築都市計画事務所  
112-0003  
文京区春日 2-26-11-2F  
URL : [www.ht-at.com](http://www.ht-at.com)  
MAIL : [info@ht-at.com](mailto:info@ht-at.com)

SunnyHills pop-up shop

企 画 : Sunnyhills Japan  
設 計 : 富永大毅建築都市計画事務所  
構造協力 : 江尻建築構造設計事務所  
製 作 : TIME & STYLE  
デザイン : HYT DESIGN

富永 大毅（とみなが・ひろき）  
1978年千葉県生まれ / 2001年東京都立大学（現首都大学東京）工学部建築学科卒業 / 2003～04年ミュンヘン工科大学 / 2005年東京工業大学大学院修士課程修了 / 2005～08年千葉県建築計画事務所 / 2008～12年隈研吾建築都市設計事務所 / 2012年富永大毅建築都市計画事務所設立



富永大毅  
建築都市  
計画事務所  
Hiroki Tominaga-Atelier

## カタチのアイデア



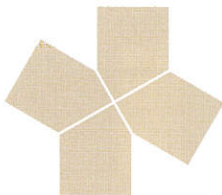
正方形平面



限られたレイアウト

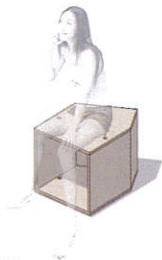


五角形平面

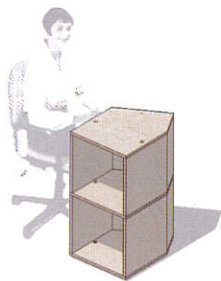


広がりのあるレイアウト

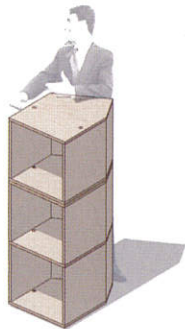
## 積み上げた時の高さ設定



h350  
クッションを置いてベンチに最適

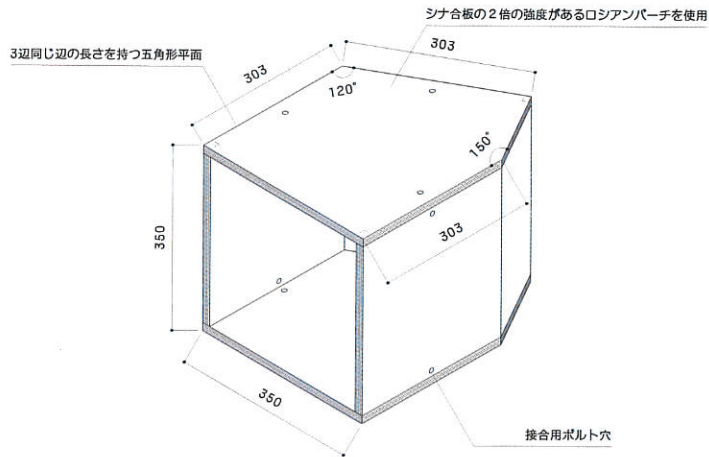


h700  
天板を置いてテーブルに最適

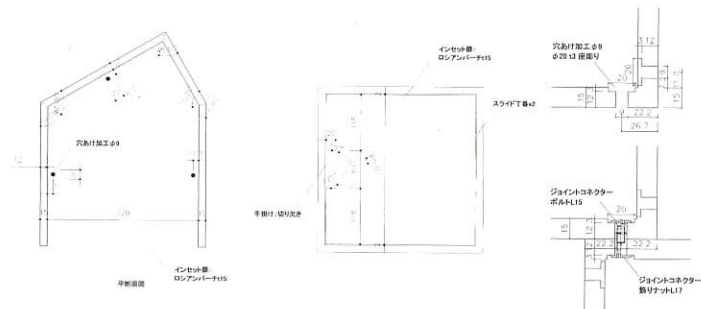


h1050  
ハイカウンターに最適

## ユニット概要



## ユニット詳細図



# 01 unit concept

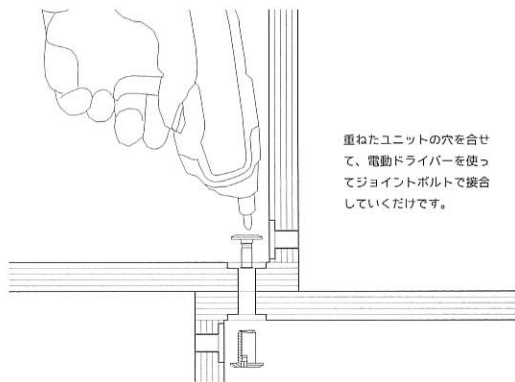
このユニットは Sunnyhills Japan のデパート催事場やイベントなどで使われる仕様の設計として依頼されました。しかし仕様と使い方を限定してしまうと、使わない時に場所をとるだけで勿体ない。そこでいろいろな組み方で家具になったり、小さなフォーリーになったりするようなユニットを提案しました。

一見変形した家形に見える五角柱の寸法体系に、秘密が隠されています。五角形平面の3辺が同じ寸法で、残りの1辺とユニットの高さが同じ、もう1辺がその1/2になっています。この寸法の整理により、いろいろな面を合わせてつないでいくことができるように、デザインしました。

# unit detail 02



## 組立て方



重ねたユニットの穴を合せ  
て、電動ドライバーを使って  
ジョイントボルトで接合  
してください。

○必要部材  
滑止めマット エンドプレート



ジョイントコネクターボルト



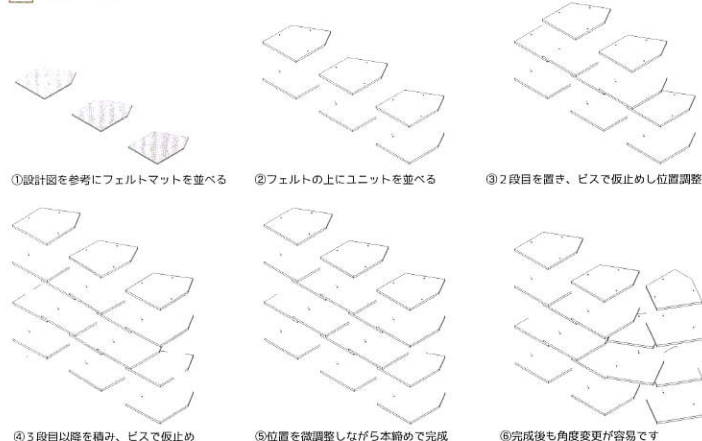
○必要工具

ミニ電動ドライバー

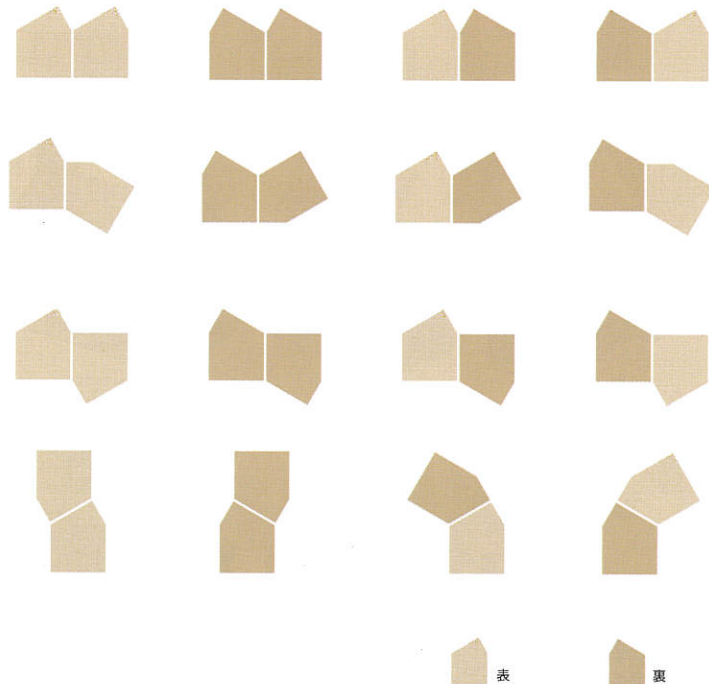


Super Compact  
Black&Decker 社

## 設置手順



## 平面接続バリエーション



03

how to  
construction

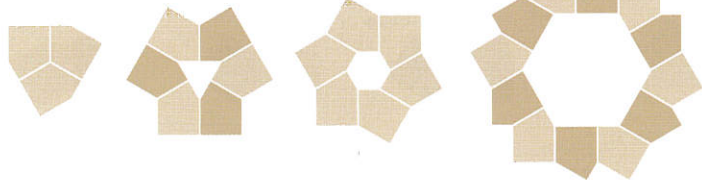
壁事の設置 / 解体は通常一晩で行われます。何度も設置・解体を繰り返す必要があるため、そのたびに設置のノウハウを奪うとコストが大変。そこで、電動ドライバーひとつで誰でも組み立てられるつくり方を提案しました。

側面の2つの穴をボルトで締めることで簡単に平面接合ができます。非対称な5角形なので、表と裏で形が変わり、2つをつなげるだけでも豊富な接合方法が可能です。

planar  
development

04

平面接続 sample (円環系)

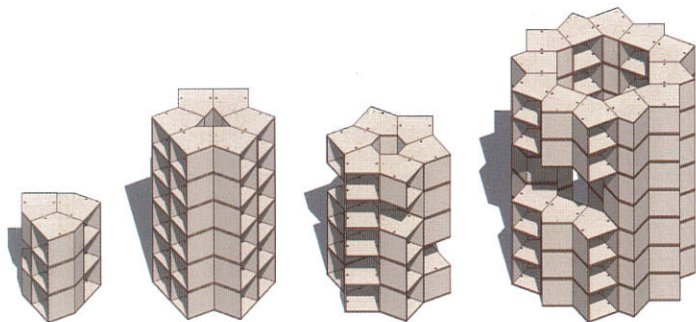


外径 : 926mm

外径 : 1229mm

外径 : 1262mm

外径 : 1775mm  
内径 : 896mm



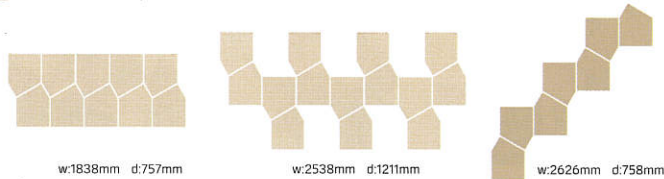
h:1050mm  
11 Units

h:2100mm  
36 Units

h:1750mm  
24 Units

h:2450mm  
76 Units

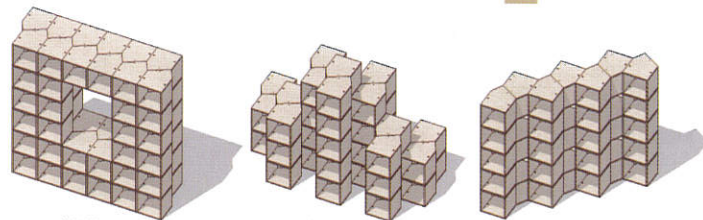
平面接続 sample (直線系)



w:1838mm d:757mm

w:2538mm d:1211mm

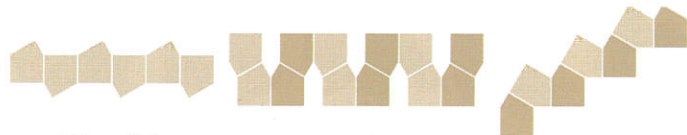
w:2626mm d:758mm



h:2100mm  
60 Units

h:1750mm  
46 Units

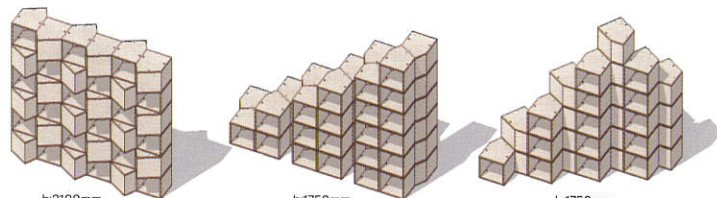
h:1750mm  
29 Units



w:2800mm d:606mm

w:1838mm d:757mm

w:2276mm d:700mm



h:2100mm  
36 Units

h:1750mm  
42 Units

h:1750mm  
30 Units

花びらのような円環状の展開を応用すると、外周から使える幅として使用可能なタワーになります。部分的に抜いたり、それぞれの花びらから腕を伸ばしていくとさらなる展開も可能です。

直線系の平面接続はもっともコンバクトに展開できる方法です。壁期間催時以外の時で、場所を取らずに置いておきたい時に役に立つ展開方法です。

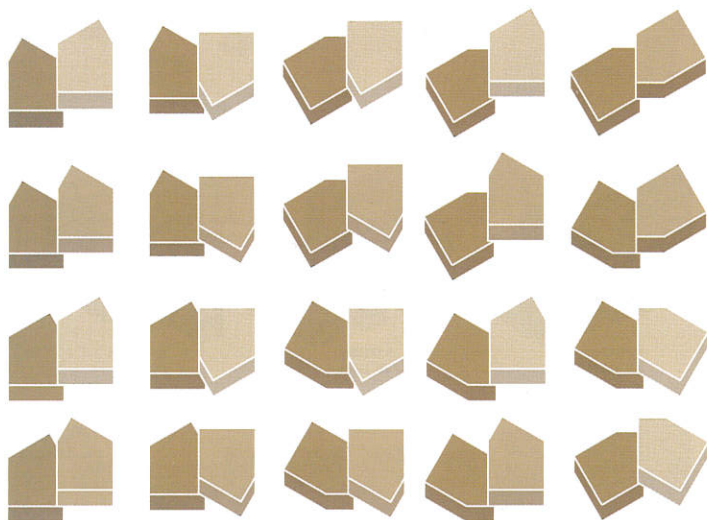
05

planar variations

06

planar variations

立体接続バリエーション



上段表



上段裏

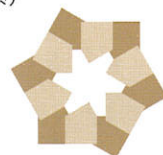


下段

立体接続 sample (円環系)



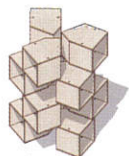
外径:1122mm



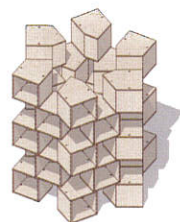
外径:1734mm



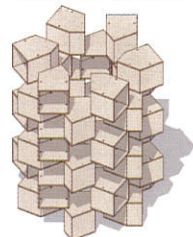
外径:1737mm 内径:728mm



h:1400mm  
12 Units



h:1750mm  
30 Units



h:2100mm  
36 Units

立体接続 sample (直線系)



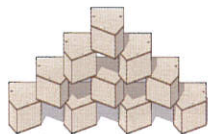
w:2130mm d:454mm



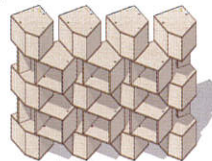
w:2504mm d:673mm



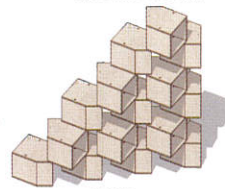
w:2084mm d:686mm



h:1400mm  
10 Units



h:1750mm  
24 Units



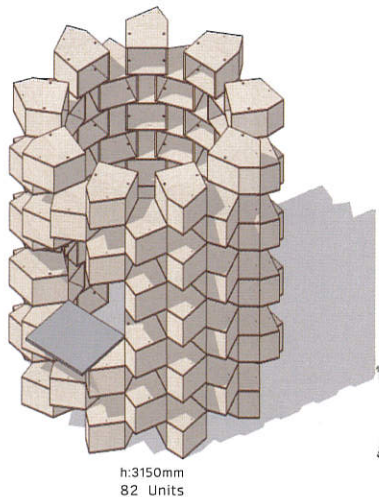
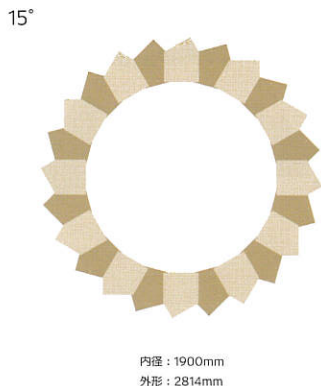
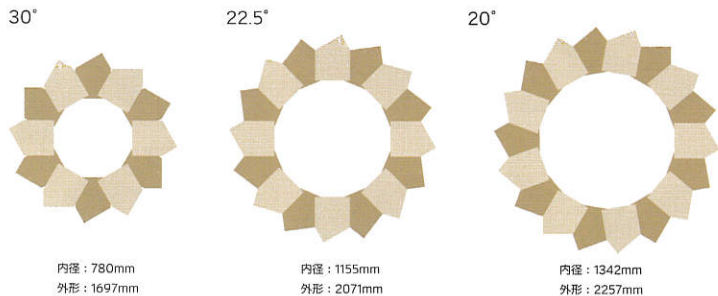
h:2100mm  
15 Units

立体接続は、少ないユニット数で大きく展開するための接続方法です。レンガの透かし積みのように積んでいきます。隅部の角が2が所以上浮いてしまう場合にはエンドプレートをつけます。

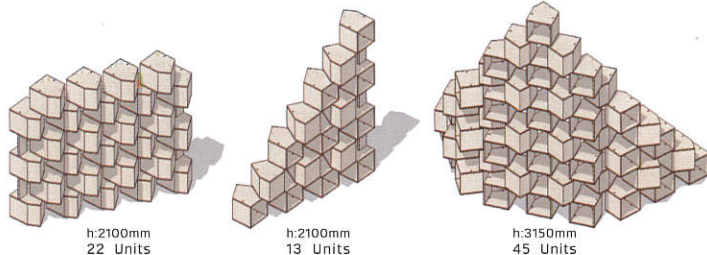
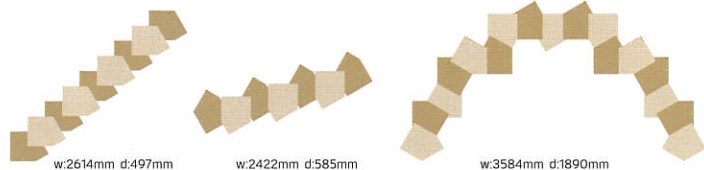
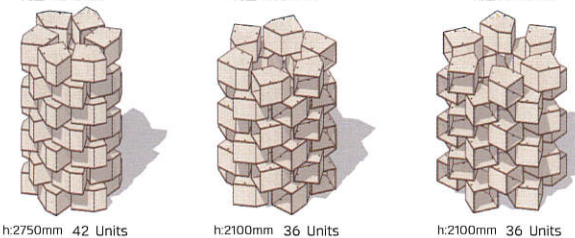
片側から使いたい場合、両側から使いたい場合など、状況に応じていろいろな積み方が可能になります。ユニットとユニットの隙間は両側から使えるようになります。



🏠 回転立体接続 sample (円環系)

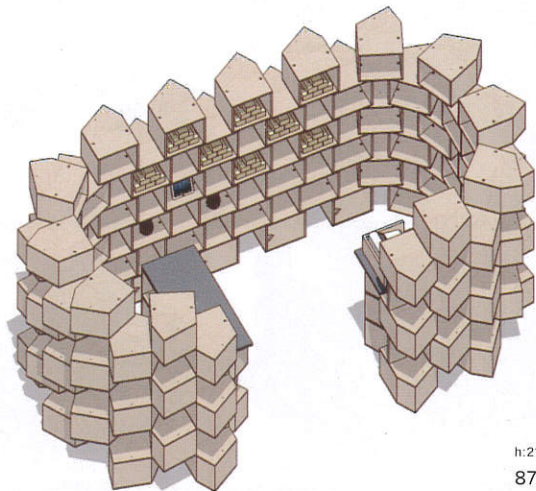
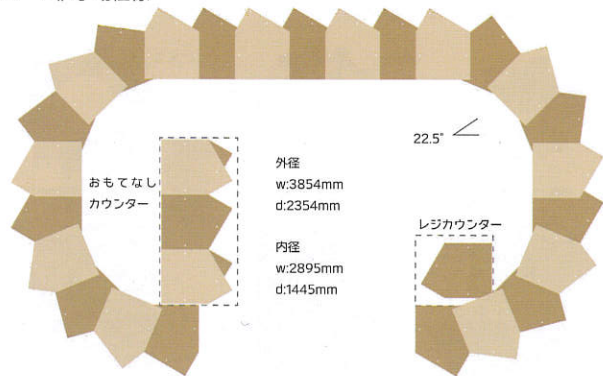


🏠 回転立体接続 sample (その他)

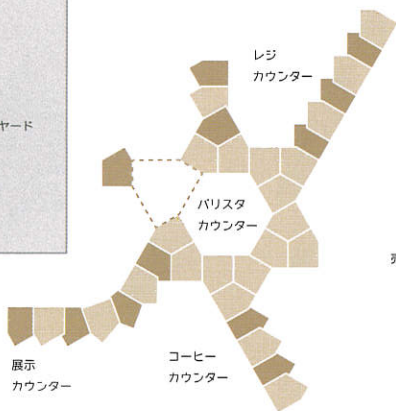


立体接続はピン接合なので簡単に角度を変えてカーブをつくることができます。会場的大小に応じて、適切な角度を選びます。

円環や直線系の積み方にさらに回転を加えると、その形は無限に変化します。このガイドを片手にその都度いろいろな新しい積み方を発見して欲しいなと考えています。







売り場

The Coffee Academics  
のバリスタを招いて  
TDWのために開催され  
るカフェ。DJブースの  
ようなバリスタカウン  
ターを、平面接続を利  
用した星形の円環の中  
に設け、そこから枝葉  
を出すように、レジカ  
ウンターや展示カウン  
ターを展開したデザ  
インとなっています。

